

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：園芸特産物対策費

事業名 ぎふ花き販路拡大促進支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 花き係 電話番号：058-272-1111 (内 2873)

E-mail: c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,800 千円 (前年度予算額：1,800 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,800	900	0	0	0	0	0	0	900
要求額	1,800	900	0	0	0	0	0	0	900
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

商談会の開催及び出展を支援することにより、販路拡大に取り組む生産者を増加させ、県産花きの販売力強化を図るとともに、花き生産者の経営向上を図り、魅力ある花き産地を育成する。

(2) 事業内容

○生産者とバイヤー等との商談会開催及び出展を支援し、県産花きの新たな販路獲得と需要増大を図る。

- ・国内外のバイヤーを招へいした商談会開催への支援
- ・首都圏もしくは海外で開催される商談会への出展支援

(3) 県負担・補助率の考え方

新たな販路を獲得することは、花き生産振興を図る上で、花き産地が最優先して取り組むべき最も重要な事業である。とりわけ、海外はビジネスの可能性が広がる新たな販路であり、生産者の意識を向上させるためには強い支援が必要である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,800	ぎふ花き販路拡大促進支援事業費補助金
合計	1,800	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

平成26年6月20日、花き産業及び花き文化の振興を図り、もって花き産業の健全な発展及び心豊かな国民生活の実現に寄与するため、「花きの振興に関する法律」が成立した。

(主な内容)

- ・農林水産大臣は、花き産業及び花き文化の振興に関する基本指針を策定
- ・都道府県は、花き産業及び花き文化の振興に関する計画を策定
- ・花き産業に関する施策
- ・花き文化に関する施策

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	ぎふ花き販路拡大促進支援事業費補助金
補助事業者（団体）	花き生産者団体（農協及びその連合会、生産者組織、その他農業者の組織する団体） （理由）商談会等へ参加・出展をするのは花き生産者団体であるため
補助事業の概要	（目的）全国のバイヤー等を招いた商談会の開催、海外で開催される商談会への出展などを通じて、新規需要開拓や販売力の強化、流通・通販業界のニーズを把握した商品開発など、県産花きの需要増大に向けた取り組みを支援する。 （内容） （1）全国のバイヤー等を集めて開催する商談会等 ・全国のバイヤー等を招き、商品開発に向けたニーズの収集、売り込み等を行う商談会の開催経費を支援 （2）市場や業界が開催する商談会等への出展 ・首都圏や各地の市場等で開催される商談会へ出展する際の経費等を支援 （3）海外で開催されるフラワーショー等への出展 ・香港、オランダ等、海外で開催される見本市等への出展経費を支援
補助率・補助単価等	定額・ <u>定率</u> ・その他（例：人件費相当額） （内容）商談会参加負担金・出展に関わる費用等 （理由）参加・出展規模により変動するため
補助効果	県産花きの需要増大や販売力の強化
終期の設定	終期令和7年度 （理由）第2期清流の国ぎふ花き振興計画の終期に合わせ、事業継続を検討する

(事業目標)

<p>・個々の花き生産者の経営の安定を図るため、新たな需要開拓先を増やし、相対取引率を高める。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H26)	R2 年度 実績	R3 年度 目標	R4 年度 目標	終期目標 (R7)	
					達成率	
① 苗物、鉢物類に おける市場予約 相対取引率又は 花き産出額	30%	未調整			65%	%
	66 億	47 億	62 億	64 億	70 億	67.1%
②花き輸出額	1,335 千円	23,206 千円	38,564 千円	53,922 千円	100,000 千円	23.2%

	H30 年度	R 元年度	R2 年度
補助金交付実績	2,320 千円	2,000 千円	0 千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策のため、全国各地の商談会が中止となり、本事業の商談会においても実施していない。 ・海外事業においても、感染症対策のため渡航が不可能となり、事業を実施できていない。(3月補正で全額不用とした)
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価) 3	・ 人口減少に伴うマーケットの縮小、コロナ禍により商談会や海外輸出等が実施できていない。このような状況下でも販路拡大につながる方法を確認する必要がある。
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり (単年度目標 100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2 : 期待どおりの成果あり (単年度目標 100%達成) 1 : 期待どおりの成果が得られていない (単年度目標 50~100%) 0 : ほとんど成果が得られていない (単年度目標 50%未満)</p>	
(評価) —	
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 商談会への参加に積極的な生産者の予約相対取引の額は現状維持から増加の傾向にあるため、それ以外の生産者をどの様に商談会に向かわせるか。また、海外への県産花きの売込みについて、関心を高める必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 国内の花き需要が縮小傾向にあるなか、輸出を視野に海外で開催される商談会に積極的に参加する先進的な生産者を県としても支援していくため、事業を継続する必要がある。</p>
--